

酷暑の砌 宮崎県防衛協会 青年部会宮崎支部会員の皆様に「暑中お見舞い」を申し上げます。

新型コロナの罹患者が東京では3千人を超え、全国では1万人に近づく中でオリンピックが開催され、柔道やソフトボールを始めとする日本の若者の活躍やメダルラッシュに、つい直近まで五輪開催中止を声高に叫んだ人達も、今暫くは同胞への声援をマスク越しに小声で送っている事だろうと考える次第です。(笑)

改めてスポーツの持つ力の偉大さを思い知らされ、国旗の下に集うナショナリズムの高揚感で国民が一つに纏まることを恐れた日本国民の分断を望む輩が、尤もらしいご託を並べて五輪等国家イベントの中止や反対を叫ぶのだろうと、底意地悪く勘ぐらずにはおられません。

開催か中止かの理由を挙げ諂えば各々100や200は宣えるでしょうが、五輪誘致に自ら手を挙げ国家の意思として決定したからには、中止や延期の理由を探す徒労より、コロナ禍の五輪開催を成功に導く方法論を検討した方が、精神衛生上も余程健全かと存じます。

新田原基地やえびの、都城各駐屯地の自衛隊関連行事等も規模縮小や延期され誠に寂しい限りですが、先日大変嬉しいニュースが届きましたので皆様にお知らせ致します。

当支部K会員のご息がこの度難関の自衛官候補生試験に見事合格し、航空自衛官として日本の防空勤務に就くことになりました。入隊時期は今のところ11月以降とのことですが、一日も早くご息の凜々しい制服姿を見たいのはお父上ばかりではありません。

さて今月も小川先生の辛口メルマガを転載しますので、何卒ご一読下さい。

・東京五輪と習近平のチベット訪問

東京オリンピックの**開会式**の様態をテレビで観ながら、様々な思いを抱かれたことと思います。

天皇陛下が開会宣言をしている横で、慌てて立ち上がった菅義偉首相と小池百合子東京都知事は弛緩しきった日本の現状を世界に印象づけました。

コロナ禍にあって、世界に向けて映像で勝負しなければならない式典なのに、単なる中継映像を流し、せっかくの出し物についても専門家が目を通した中身のある解説原稿にすべきところを、**ありきたりの説明原稿**を読み上げさせた組織委員会とNHK。言い出したらきりが無いほど不満が残りましたが、**あとはアスリート**が暗い空気を吹き飛ばしてくれるのに期待したいと思います。

そんな東京オリンピックにぶつけるように、**中国の習近平国家主席がチベットを訪問した**ことは、日本として見逃してはならない動きでした。

「中国の習近平国家主席(共産党総書記)は21～23日、チベット自治区を視察した。国営新華社通信が23日伝えた。習氏のチベット訪問は**2012年の総書記就任以来初めて**。中国軍が進駐しチベットを『解放』したとする1951年から70年に合わせた訪問で、**統治の正当性を誇示し**、米国などからの**人権侵害批判に反論する狙い**があるとみられる。

党トップの総書記の訪問は、90年の江沢民氏以来31年ぶり。習氏は『解放60周年』の11年に国家副主席として訪れたことがある。

中心都市のラサなどを訪問した習氏は『解放から70年で人民の生活は大幅に改善した。中国共産党がなければ、新中国も新チベットもなかったことを実践が証明した。**党のチベット政策は完全に正しかった**』と自賛。チベット仏教寺院『デブン寺』では、党の指導、社会主義制度、祖国の統一を擁護する寺の取り組みを評価した。(後略)」(7月24日付**時事通信**)

大国のトップが動くとき、ひとつの目的だけということはありません。**色んな方面に目配り**をしています。優先順位こそ見方が別れると思いますが、今回の場合は次のようなことが考えられます。

まず、6月のコンウォールサミットの首脳宣言をはじめ、**人権問題**についての**国際包囲網**は中国としても見過ごすことができないレベルになっています。習氏としては、**チベットの発展**に中国が力を注いできたことを**世界にアピールし**、**チベット側の親中国勢力を拡大**していくために融和的姿勢も打ち出す。これは、国内の政治を安定させるためにもきわめて重要な位置づけにあったと思います。

同時に、チベット訪問の日程を**東京オリンピックの開会式**にぶつけておけば、開会式が大成功を収めた場合でも、**習氏のチベット訪問**を自然な形で**ニュースのトップ**に持っていくことができます。それによって中国国民の日本への憧れが増したり、対日感情が和らいだりすることに歯止めを掛ける効果も視野に入っていたと考えてよいでしょう。

むろん、チベット訪問の日程をぶつけることで**東京オリンピックを無視**するという対日姿勢の表明でもあったでしょう。開会式に出席すると思われていた**孫春蘭副首相**(スポーツ行政担当)の**訪日を取りやめ**、選手団を率いる国家体育総局局長の**苟仲文氏**(閣僚級)だけにしたことなどを見れば、それは明らかです。これは、米国などが打ち出している**来年の北京冬季オリンピックへの外交的ボイコット**に先手を打った動きでもあります。

やるんだったらやれよ。オレのほうから先にやってやるよ。そんな声が聞こえてきそうですね。

もはや**オリンピックは政治まみれ、金まみれ、スキャンダルまみれ。開催地や規模など、原点に戻って考えるべき時期**にきていることは間違いありません。(小川和久)

国際情勢と云うのは我々国民が、NHK や宮日新聞?のみで知り得た情報や知識だけで全体像を推し量ることは不可能で、様々なチャンネルを持った専門家集団が収集した一個一個の情報(ピース)を分析し、埋め込み乍ら完成させるまるでジグソーパズルの様なものだと思います。

それは国内情勢も同様で、前期決算赤字 400 億円を出したA新聞やM新聞の所謂「恣意的でエッジを効かせた記事」等の情報(ピース)だけで取り組む読者のジグソーパズルは、「何か」が足りずに一向に完成しないままかも知れません。

その「何か」が理解できれば国家や国民の分断は生起せず、日本を日本たらしめる最重要なピースに気付かされると思うのですが.....(^;) その件は同封の産経新聞掲載オピニオン竹内久美子先生の「正論」に譲りますので、併せて是非ご一読賜れば幸いです。

さて今年も暑い熱い8月15日がやって来ます。戦後76年経過しても尚、中国などの我が国に対する内政干渉に阿り、陸海空自衛隊最高指揮官である内閣総理大臣が、8月15日の終戦記念日に靖国神社に参拝出来ないと云う異常事態が30年以上も続く現状を、「後に続くを信じて散華された」靖国の杜に集う数多の英霊に対し、一国民として本当に申し訳なく思います。m(_)_m

当日は宮崎県護国神社で慰霊祭を齎行しますので、お時間のある方は是非ともご参列賜り、また靖国神社境内からの「感謝の心をつなぐ青年フォーラム」をYouTubeライブ配信予定です。

オリンピックに甲子園と、TV 自粛観戦で暑い夏とコロナ禍を共に乗り切りましょう。(^o^)/

令和3年8月1日

宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部長 小 倉 和
彦